

2023.9月の新着本より

Sassy のあかちゃんえほん ぶるるん



「ぴーぽー」「ぶしゅー」「がっきん」など、楽しいオノマトペがふんだんに盛り込まれた、カラフルなりものいっぱいの赤ちゃん絵本！全てのページに登場する Sassy の「にこにこ顔」が赤ちゃんをくぎづけにします。0歳の誕生日から、のりものに興味を持つ1~2才まで長く楽しめます！はじめての「のりものえほん」にぴったりの一冊。



おふとんかけたら かがくい ひろし

たこさん、まめさん、ソフトクリームさんにトイレットペーパーさん……。ページをめくっておふとんかけたら、どんなねぞうになるのかな？ 登場するみんなのゆかいなねぞう、おやすみ前に親子でいっしょに大わらい。「だるまさん」シリーズかがくいひろしによる絵本。

アナログ ビートたけし

手作り模型や手書きのイラストにこだわるデザイナーの水島悟は、ある日自らが内装を手掛けた喫茶店「ピアノ」で謎めいた女性・みゆきと出会う。自分と似たような価値観を持つ彼女に徐々に惹かれていく悟。意を決して連絡先を聞くも、「お互いに、会いたい気持ちがあれば会えますよ」と言われ、連絡先は交換せず、毎週木曜日ピアノで会う約束を交わす。会える時間を大切にして、ゆっくりと関係を深めていく2人。しかし、突然彼女はピアノに現れなくなってしまい……。毎週木曜日、同じ場所で会う約束。時代に逆らうような“アナログ”な関係を描く、珠玉の恋愛小説。

ミセス・ハリス、ニューヨークへ行く ポール・ギャリ/亀山 龍樹

アラカン（61歳）の家政婦さん。子どもを救うためにニューヨークへ……密航！？

61歳のハリスおばさんと親友バターフィルドおばさんは夫を亡くしロンドンで家政婦をしている。お隣のヘンリー少年が里親に殴られると知り、彼を実の父がいる米国へつれていきたいと願うが、貧しい2人には無理だった。ところが得意先の社長夫妻のニューヨーク転勤に同行することになりチャンス到来。無謀にも少年を密航させようとするが…。いくつになっても夢をあきらめない大人たちの物語。※本書は、1980年12月に刊行された『ハリスおばさんニューヨークへ行く』（講談社文庫）を、現代向けに加筆修正し、角川文庫化したものです。原題：Mrs Harris Goes to New York

当月の新着本のリストと紹介文の一部は図書館受付に掲示しています。ホームページにも掲載しています。

2023.10月の新着本より

だってだっての おばあさん 佐野 洋子



だってわたしはおばあさんだから。それが口ぐせのおばあさん。99歳の誕生日にろうそくがたりなくて、おばあさんは5歳になりました…。だってわたしは5歳だもの！ 新しい生活がはじまります。

小学生がたった1日で 19×19までかんぺきに暗算できる本 小杉拓也



18×17=□？
5秒で答えられますか？
この1冊をやるだけで、小学生がたった1日で19×19までの暗算がパッと答えられるようになる！スマールステップで子どもも大人も楽しく学べて確実に身につく。テストの得点力UP、中学受験、脳トレなど、ここぞという場面で大活躍のすごい暗算法を大公開！（Amazonより）

くもをさがす 西 加奈子

これは、たったひとりの「あなた」への物語——祈りと決意に満ちた、西加奈子初のノンフィクション

『くもをさがす』は、2021年コロナ禍の最中、滞在先のカナダで浸潤性乳管がんを宣告された著者が、乳がん発覚から治療を終えるまでの約8ヶ月間を克明に描いたノンフィクション作品。

カナダでの闘病中に抱いた病、治療への恐怖と絶望、家族や友人たちへの溢れる思いと、時折訪れる幸福と歓喜の瞬間——。

切なく、時に可笑しい、「あなた」に向けて綴られた、誰もが心を揺さぶられる傑作です。（Amazonより）

めぐり逢いサンドイッチ 谷 瑞恵

こんなお店が近くにあったらいいのに！ 腹ぺこさん大集合、ほっこり癒やされる物語。

「サンドイッチになると、なんだかわくわくするでしょう」

大阪の駅公園前にある「ピクニック・バスケット」は開店3年目を迎える手作りサンドイッチ店。

姉の笛子と妹の路子のふたりで切り盛りするこのお店には、個性豊かな人々が訪れる。

たまごサンド嫌いのOL、人気がない具材を探す女子高生、イケメンパン職人や職業不詳の常連客など。

具材と一緒に思い出をパンにはさんだ絶品サンドイッチが、あなたの心をおいしく癒します。

へんしん とびばこ あきやま ただし



さあこれから、とびばこたいかいがはじまりますよ。ここにあるのは、へんしんとびばこ。このふしぎなどびばこをとぶと、なぜかみんなへんしんしちゃうんです。だれがいちばんたかくとべるかな？とんでみたいこ、はやくあつまれ～っ。

おいのものーさん 岡田よしたか

ひとりで本を読むのが好きな、おいのものーさん。たこがたずねてきて、しぶしぶお出かけします。そこで出会ったほしがきやかばちゃんのユニークなお誘いも「いまはやめときます」と、しんちようにおことわり。でもついにたき火にとびこむことなり…！？想像をこえる展開に、大笑いまちがいなし！

ほどなく、お別れです 長月 天音

大学生の清水美空は、東京スカイツリーの近くにある葬儀場「坂東会館」でアルバイトをしている。坂東会館には、僧侶の里見と組んで、訳ありの葬儀ばかり担当する漆原という男性スタッフがいた。漆原は、美空に里見と同様の“ある能力”があることに目をつけ、自分の担当する葬儀を手伝うよう命じる。漆原は美空をはじめとするスタッフには毒舌だが、亡くなった人と、遺族の思いを繋ごうと心を尽くす葬祭ディレクターだった。

神さまのいうとおり 谷 瑞恵

「会社を辞めて農業をしたい」。父親が突然宣言し、高校生の友梨は曾祖母の暮らす田舎に引っ越すはめに。主夫となった父親や同級生との関係に悩む友梨に曾祖母が教えてくれたのは、絡まってしまった糸をほどくおまじないだった。最初は、疑心暗鬼な友梨だったが……。代々伝わる暮らしの知恵、忘れていた大切なことを思い出させてくれる物語。

水を縫う 寺地はるな

松岡清澄、高校一年生。一歳の頃に父と母が離婚し、祖母と、市役所勤めの母と、結婚を控えた姉の水青との四人暮らし。

学校で手芸好きをからかわれ、周囲から浮いている清澄は、かわいいものや華やかな場が苦手な姉のため、ウェディングドレスを作り作ると宣言するが——「みなも」いつまでも父親になれない夫と離婚し、必死に生きてきたけれど、息子の清澄は扱いづらくなるばかり。そんな時、母が教えてくれた、子育てに大切な「失敗する権利」とは——「愛の泉」ほか全六章。

世の中の〈普通〉を踏み越えていく、清々しい家族小説。

ブルブル ブルドーザー ひらぎ みつえ



ガーガー、ショベルカーが地面をほります。ザザザー、ダンプカーが土をおろします。グルグルグル、ミキサー車がコンクリートをまぜます。しかけを動かすと工事の車が動きだす。あかちゃんがよろこぶしあげえほん。

まねっこ どきっ！ おばけ まつした さゆり/スズキ サトル

まねっこぽーず まねっこぽーず
びたっととめて おばけ！
リズムにのって、いろんなおばけのポーズをとろう。ハロウィーンの雰囲気まんさいの、楽しくからだを動かす絵本。好評シリーズ第2弾。
今回はタオルを使うよ。

奉還町ラブソディ 村中 李衣

山口から岡山に引っ越してきたばくは、奉還町商店街のまんじゅう屋の息子、あつしと仲良くなった。奉還町は、大政奉還で配られた奉還金をもとに、武士が商売を始めたという歴史のある町だ。そこには、毎日金髪のマネキンたちといっしょにおっかない顔で店の前につつたって「レディースファッショナベにや」のおっちゃんや、店であつかうすべての種を育てて観察し、記録をつけている「たねやのノダ」のおばあちゃん、若いころミュージシャンを夢見ていた「沖原整骨院」のじいちゃん先生など、個性的な人だらけで……。
子どもたちの目をとおして、お年寄りや彼らの人生を温かく描いた児童文学作品。

おまえの罪を自白しろ 真保裕一

「総理の友人に便宜を払うため、国交省や県に圧力をかけたのではないか」
衆議院議員の宇田清治郎は、こんな疑惑を糾弾され、連日、メディアに追われていた。その最中、三歳になる孫娘が誘拐された。

「記者会見を開いて、おまえの罪を自白しろ。今まで政治家として犯してきたすべての罪を、だ」

犯人が提示したタイムリミットは翌日の午後五時。
動機は宇田清治郎への怨恨か。それとも、総理の罪を暴くことにあるのか。
警察は、思い当たる過去の罪を事前に打ち明けてくれ、と宇田を説得する。

宇田一族、総理官邸、警察組織——。
三者の思惑が入り乱れる中、刻々とタイムリミットが迫る。